



2026年3月17日

各位

会社名 株式会社エスケーエレクトロニクス
代表者名 代表取締役社長 石田 昌徳
(コード番号: 6677 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 経営戦略室長 一井 洋孝
電話番号 075-441-2333 (代表)

「抗がん薬注入器 フラッシュポンプ」の学会出展のお知らせ

株式会社エスケーエレクトロニクス（本社：京都市上京区、代表取締役社長：石田昌徳）は、2026年3月に開催される「第23回日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO2026）」にて、新開発の抗がん薬注入器「フラッシュポンプ®（FLUSH PUMP®）」（*1）を展示・発表することをお知らせいたします。本製品は、本年2月に独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）より高度管理医療機器（クラスⅢ）として薬事承認を取得いたしました。

1. 背景

抗がん薬注入器は、注入器内のバルーンの収縮力を利用し抗がん薬を血管内に持続的に注入する携帯型の薬液注入ポンプで医療機器です。国内では年間約30万個が使用される成長市場ですが、一方で「薬剤曝露（ばくろ）」という深刻な課題を抱えています。

- ・ **医療従事者への影響**： 抗がん薬の調剤や注入時だけでなく、投与後の取り外し作業において、薬剤が飛散・付着し、白血病や自然流産といった重篤な健康被害を引き起こすリスクが報告されています。（*1）
- ・ **家庭内での二次曝露**： 治療を受ける患者様の同居家族から薬剤成分が検出されるケースがあり、医療機関内だけでなく、家庭内における曝露対策の重要性も指摘されています。（*2）

2. 製品の特長

フラッシュポンプは医療従事者を始め、ご家族や身近な人の抗がん薬曝露リスクを考慮して開発しました。医療従事者はもちろん、在宅でケアを担うご家族や身近な人でも扱いやすく安全を考慮した設計が特長です。

- ・ **「外さず洗える」独自構造（特許実施権取得済み）**： 洗浄ポートを筐体に内蔵した独自構造（特許第7213528号）により、注入器とチューブを外すことなく、閉鎖回路の状態ですら生理食塩水等によるフラッシュ洗浄が可能です。（*3）
- ・ **閉鎖回路で漏れを遮断**： 従来品はフラッシュ洗浄時に注入器とチューブを外す必要があり、外した際にチューブに残った薬剤が漏れ・飛散する可能性があります。本製品はシステム全体を閉鎖したままチューブの中に残った薬剤を洗浄し、薬剤の漏れ・飛散を抑えます。

《製品概要》

【販売名】フラッシュポンプ

【(医療機器) 一般的名称】 加圧式医薬品注入器 【クラス分類】 クラスⅢ

【承認番号】30800BZX00028000



3. 学会出展および講演について

本製品は、以下の学会で展示および発表を予定しております。

名称：第23回日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO2026）

日程：2026年3月26日（木）～28日（土）

場所：パシフィコ横浜ノース

講演内容：世界初！抗がん薬曝露から「すべての人」を守るNew Device（*4）

—簡便で患者にもやさしいFLUSH PUMP—

司会：室 圭（愛知県がんセンター 薬物療法部／外来化学療法センター）

演者：結城 美智子（東北文化学園大学医療福祉学部看護学科）

在宅がん化学療法の抗がん薬曝露対策を考える

演者：辻 晃仁（香川大学医学部臨床腫瘍学講座）

消化器がん薬物療法 —加圧式医薬品注入器（バルーンポンプ）の管理、適切に行えていますか？—

4. 今後の見通し

本製品の販売開始時期は2026年7月を予定していますが、準備状況により変更となる可能性があります。なお、本製品が当社2026年9月期連結業績に与える影響は、軽微と見込んでおります。

(*1) 「フラッシュポンプ」および「FLUSH PUMP」は、株式会社フューチャーライズの登録商標です。

(*2) 参考文献

Blood (2024) 143 (4): 311–319., Yoshida et al. (2006), McDiarmid et al. (2010), Hansen and Olsen (1994), Yuki M, Sekine S, Takase K, et al. Secondary exposure of family members to cyclophosphamide after chemotherapy of outpatients with cancer. Oncol Nurs Forum. 2015;42(6):E367-E373.

(*3) 特許 7213528 号：システム洗浄機能を備える加圧式医薬品注入器

(*4) 「世界初」の記述は 2026 年 3 月現在、当社で調べた限りの参考情報です。

< 製品に関するお問合わせ先 >

株式会社エスケーエレクトロニクス ソリューション事業部 HCグループ

〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城 62 番地 1

<http://www.sk-el.co.jp/inquiry/>

以上